

教員活動評価実施報告書

平成30年度

埼玉大学

教育・研究等評価室

1. 概要

本学では、「教員個人の活動状況を点検することによって、その活動の一層の活性化を図り、本学の教育・研究の質の向上と運営等の改善に資する」という目的の下に、例年、教員個人の教育研究等の活動評価を実施している。平成 29 年度の教員活動についても、下表のとおり評価を実施した。

実施期間	教員活動報告書提出期間：平成 30 年 5 月 29 日（火）～8 月 6 日（月） 部局長評価期間：平成 30 年 9 月 10 日（月）～11 月 26 日（月）
対象者	平成 30 年 4 月 1 日現在で本学に在籍している教員 ※新規採用教員、休職中の教員及び教諭は除く
対象領域	4 領域（教育活動、研究業績、大学運営への貢献、社会への貢献）
評価対象期間	原則過去 3 年間
評価対象者	437 名（提出率 100%）

2. 評価の実施体制、方法

「埼玉大学における教員活動評価の基本方針」、「埼玉大学における教員活動評価の実施要項」、各部局の教員活動評価実施要領に従い、評価対象教員が提出した平成 29 年度実績分の教員活動報告書に基づいて、部局長が所属教員の評価を行った。

3. 部局別評価対象教員数

人文社会科学研究科（学際系）	46 名
人文社会科学研究科（経済系）	43 名
教育学部（附属教育実践総合センター含む）	101 名
理工学研究科	215 名
教育機構	13 名
研究機構	13 名
情報メディア基盤センター	3 名
国際本部	3 名

4. 評価の尺度

3. 活動は極めて優れている
2. 活動は期待される水準に達している
1. 活動は不十分で改善を要する

5. 全体の評価結果

埼玉大学は、地域活性化の中核となり、世界/日本の教育研究拠点として光を放つことを目指して、平成 28 年度からの第 3 期中期目標・中期計画期間においては「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉 ～多様性と融合の具現化」という新たなビジョンの下で、「地域活性化を目指した融合科学研究・開発の推進と人材育成」、「地域ニーズに即した人材育成と教員養成」、「強みを有する分野の国際教育研究拠点化」という 3 つの戦略をたて、様々な取組を行っている。これを踏まえ、教育研究拠点、地域活性化というキーワードに対応した教員活動である教育、研究、社会貢献の 3 領域について、教員活動の評価結果を概観する。

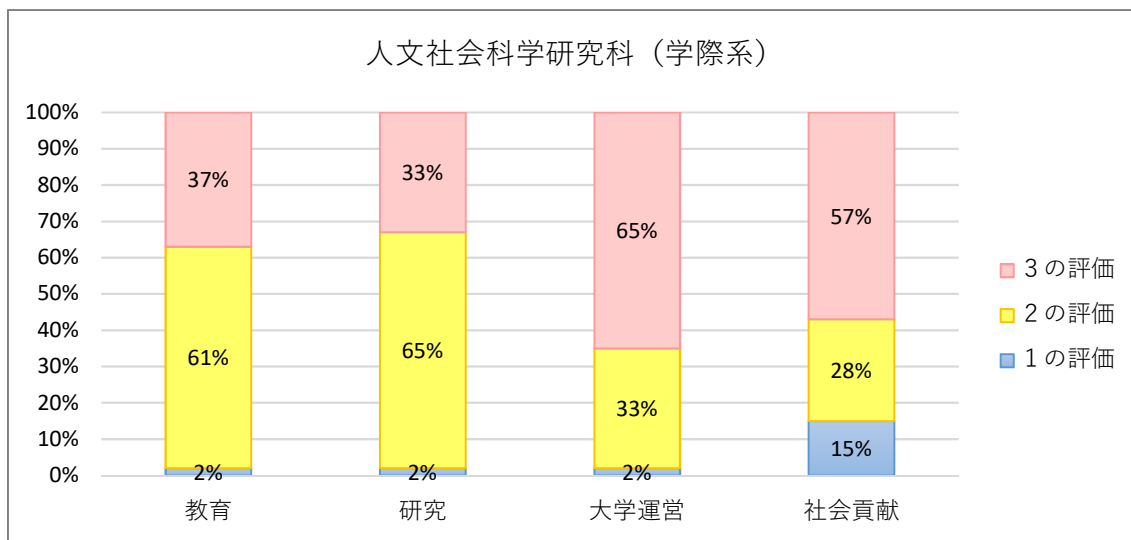
大学全体でみると、教育領域で 3 の評価を受けた教員の割合は約 14%、2 の評価は約 85%、1 の評価は約 1% であった。研究領域では、3 の評価は約 20%、2 の評価は約 78%、1 の評価は約 2% であった。社会貢献領域では、3 の評価は約 48%、2 の評価は約 48%、1 の評価は約 4% であった。前回の評価と比べると、3 の評価を受けた教員の割合が、教育領域で 18 ポイント、研究領域で 19 ポイント減少している。この主な原因は、従来、3 の割合が相対的に高かった部局が、より高い水準を目指して評価基準を改善して厳格化したことである。社会貢献領域では、前回より 9 ポイント増加した。

各部局の評価は、評価基準の厳格化も含めて、今年度も全体としておおむね適切に行われていると評価することができる。もっとも、部局横断的に見ると、領域によっては各部局ごとに評価の分布が異なっている。部局によって評価基準が異なるために単純な比較ができないことはもちろんであるが、3 の割合の相対的に高い領域のある部局には、より高い水準を目指しての評価基準の検討を望みたい。また、各部局で把握している課題については、次年度へ向けて、教員活動のさらなる活性化のために改善に積極的に取り組むことを期待する。評価及び改善の取組みを可視化することは、今後一層求められるので、とくに評価の結果明らかになった教員活動の課題とそれに対する改善策について、部局長コメントをより充実させることを求めたい。さらに、本学の教員活動の優れた点を外部に積極的に公表していくことも必要となるので、そのような活動について積極的にコメントで言及することも求めたい。

第 3 期中期目標・中期計画期間では、平成 31 年度までの実績を踏まえた 4 年日終了時評価が実施される。各教員には、このことも踏まえ、第 3 期中期目標・中期計画期間における大学改革に即して、活動の一層の向上に努めることを望む。

6. 部局別評価結果

(1) 人文社会科学研究科（学際系）（評価対象人数：46 名）



	教育領域		研究領域		大学運営領域		社会貢献領域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3 の評価	17	37%	15	33%	30	65%	26	57%
2 の評価	28	61%	30	65%	15	33%	13	28%
1 の評価	1	2%	1	2%	1	2%	7	15%

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

特になし

②評価の低い教員数

特になし

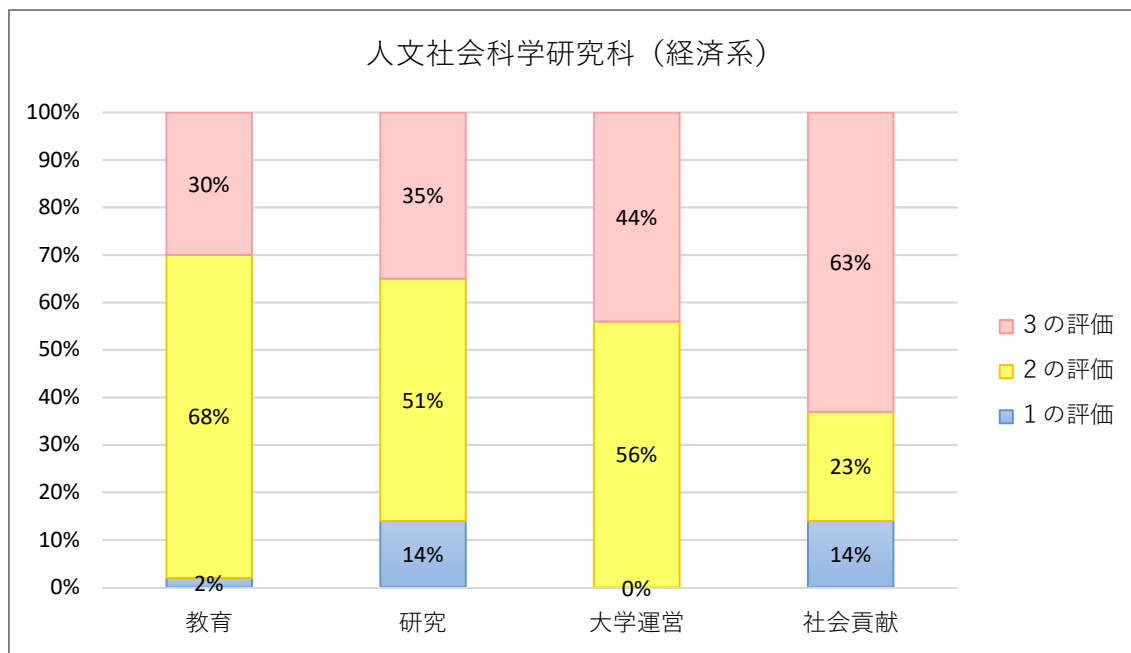
③評価結果の総括、問題点等

特になし

④特記事項

特になし

(2) 人文社会科学研究科(経済系)(評価対象人数:43名)



	教育領域		研究領域		大学運営領域		社会貢献領域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	13	30%	15	35%	19	44%	27	63%
2の評価	29	68%	22	51%	24	56%	10	23%
1の評価	1	2%	6	14%	0	0%	6	14%

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

12ポイントの教員6名、11ポイントの教員8名、10ポイントの教員5名

②評価の低い教員数

6ポイントの教員2名

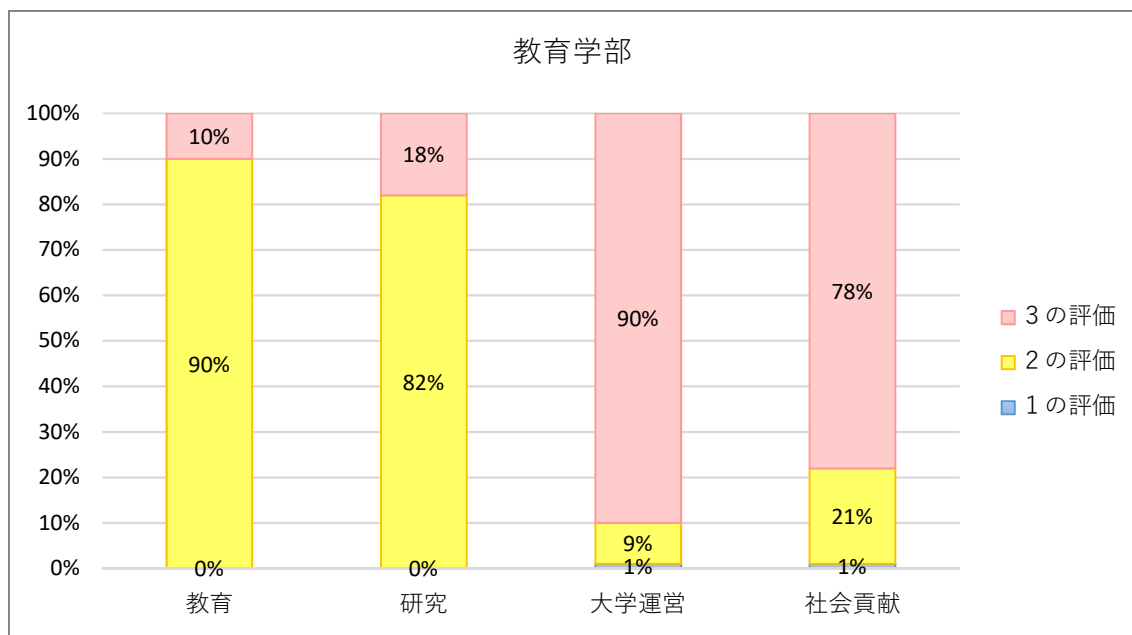
③評価結果の総括、問題点等

業務内容の異なる外国人教員、助教については、業務外の領域評価を2とした。

④特記事項

2017年度経済統計学会賞を受賞した教員がいる。

(3) 教育学部 (附属教育実践総合センター含む) (評価対象人数: 101 名)



	教育領域		研究領域		大学運営領域		社会貢献領域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	10	10%	18	18%	91	90%	79	78%
2の評価	91	90%	83	82%	9	9%	21	21%
1の評価	0	0%	0	0%	1	1%	1	1%

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

すべての領域で「3」と評価された者: 2名

②評価の低い教員数

いずれかの領域で「1」と評価された者: 2名

③評価結果の総括、問題点等

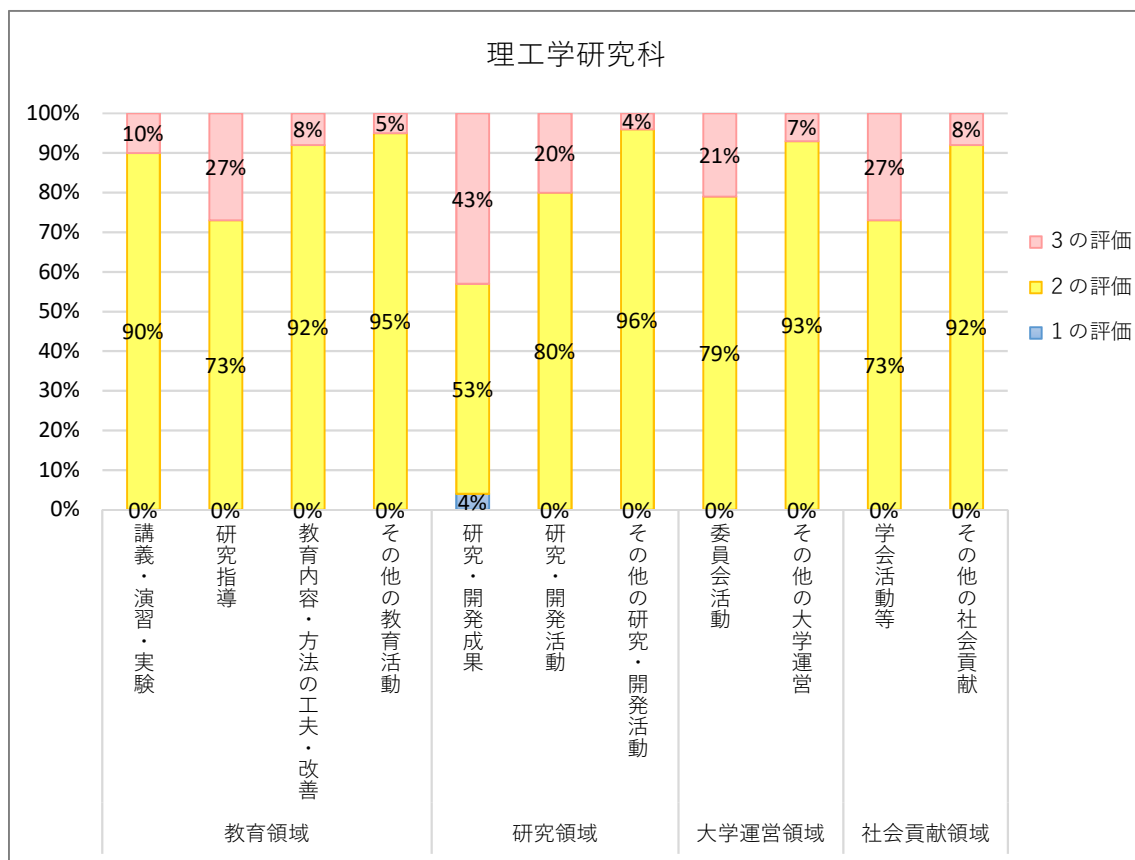
全体的に、「評価の方針」を改め、「水準に達している」という「2」を基本とし、「特に優れている」を「3」とし、「水準に達していない」を「1」とした。

その結果、「大学運営」と「社会貢献」の領域で「3」が多いものとなった。教育学部の特性として、実習運営など学部運営に関わる業務が多くあること、教育学部所属教員の特性として、各種審議会委員など、公私にわたる「社会的活動」が重要な位置を占めることが明らかになった。

④特記事項

特になし

(4) 理工学研究科 (評価対象人数: 215 名)



	教育領域							
	講義・演習・実験		研究指導		教育内容・方法の工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	21	10%	59	27%	18	8%	10	5%
2の評価	193	90%	156	73%	197	92%	205	95%
1の評価	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	研究領域					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	92	43%	43	20%	9	4%
2の評価	115	53%	172	80%	206	96%
1の評価	8	4%	0	0%	0	0%

	大学運営領域				社会貢献領域			
	委員会活動		その他の大学運営		学会活動等		その他の社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3 の評価	45	21%	15	7%	58	27%	18	8%
2 の評価	170	79%	200	93%	156	73%	197	92%
1 の評価	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

Default 値（2 点）の合計点より 5 点高い教員 5 人、4 点高い教員 22 人、3 点高い教員 38 人、2 点高い教員 52 人、1 点高い教員 56 人

②評価の低い教員数

0 人

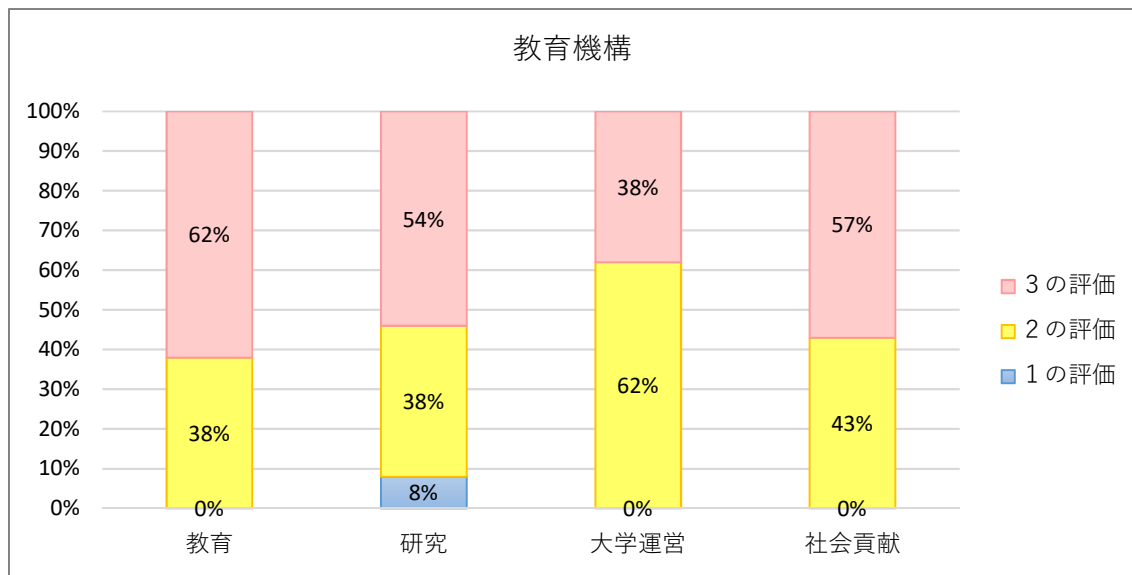
③評価結果の総括、問題点等

従来の方法を踏襲して、研究科長及び副研究科長の合議による評価を行った。評価に当たっては、各コース長の意見も参考にした。

④特記事項

特になし

(5) 教育機構 (評価対象人数: 13 名)



	教育領域		研究領域		大学運営領域		社会貢献領域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	8	62%	7	54%	5	38%	4	57%
2の評価	5	38%	5	38%	8	62%	3	43%
1の評価	0	0%	1	8%	0	0%	0	0%

※英語教育開発センターでは、社会貢献活動領域の評価を教育活動領域で実施することをセンターの評価実施要領で定めているため、社会貢献項目については、英語教育開発センター所属教員を除いた人数をグラフ化した。

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

評価対象教員 13 名中 4 名

②評価の低い教員数

評価対象教員 13 名中 1 名

③評価結果の総括、問題点等

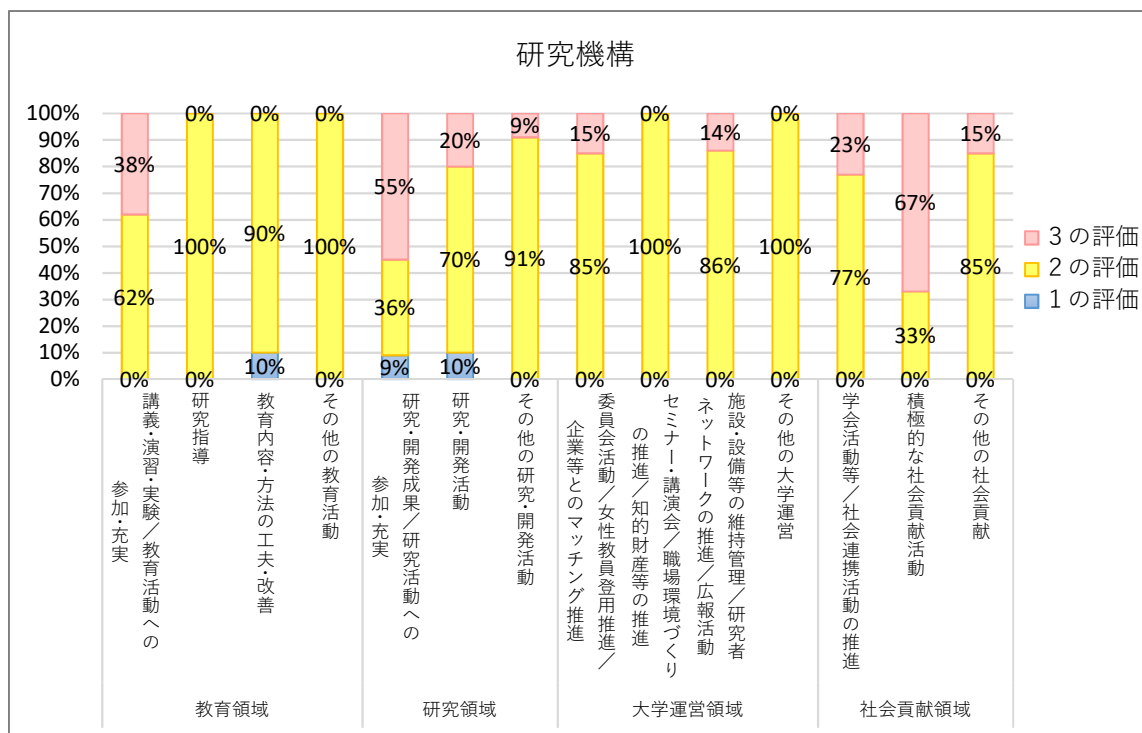
英語教育開発センター、保健センター、社会調査研究センター、基盤教育研究センターに所属するいずれの教員も積極的に業務に取り組み、概ね良好な成果を上げている。

各センターとも業務が多岐に渡り、いくつかの定量的尺度のみで活動を評価するのは容易ではない。センターごとにミッションが異なるため、複数のセンターにまたがる教員間の比較は困難であるし、今後とも評価項目及び基準の継続的な改善が必要である。

④特記事項

特になし

(6) 研究機構 (評価対象人数: 13 名)



	教育領域							
	講義・演習・実験／教育活動への参加・充実		研究指導		教育内容・方法の工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	5	38%	0	0%	0	0%	0	0%
2の評価	8	62%	10	100%	9	90%	13	100%
1の評価	0	0%	0	0%	1	10%	0	0%

	研究領域					
	研究・開発成果／研究活動への参加・充実		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	6	55%	2	20%	1	9%
2の評価	4	36%	7	70%	10	91%
1の評価	1	9%	1	10%	0	0%

	大学運営領域							
	委員会活動／女性教員 登用推進／企業等との マッチング推進		セミナー・講演会／職 場環境づくりの推進／ 知的財産等の推進		施設・設備等の維持管 理／研究者ネットワー クの推進／広報活動		その他の大学運営	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	2	15%	0	0%	1	14%	0	0%
2の評価	11	85%	7	100%	6	86%	13	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	社会貢献領域					
	学会活動等／社会連携活 動の推進		積極的な社会貢献活動		その他の社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	3	23%	2	67%	2	15%
2の評価	10	77%	1	33%	11	85%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

※研究機構では、各センター等で評価項目が異なるため、各評価項目の合計人数が一定ではない。

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

特になし

②評価の低い教員数

特になし

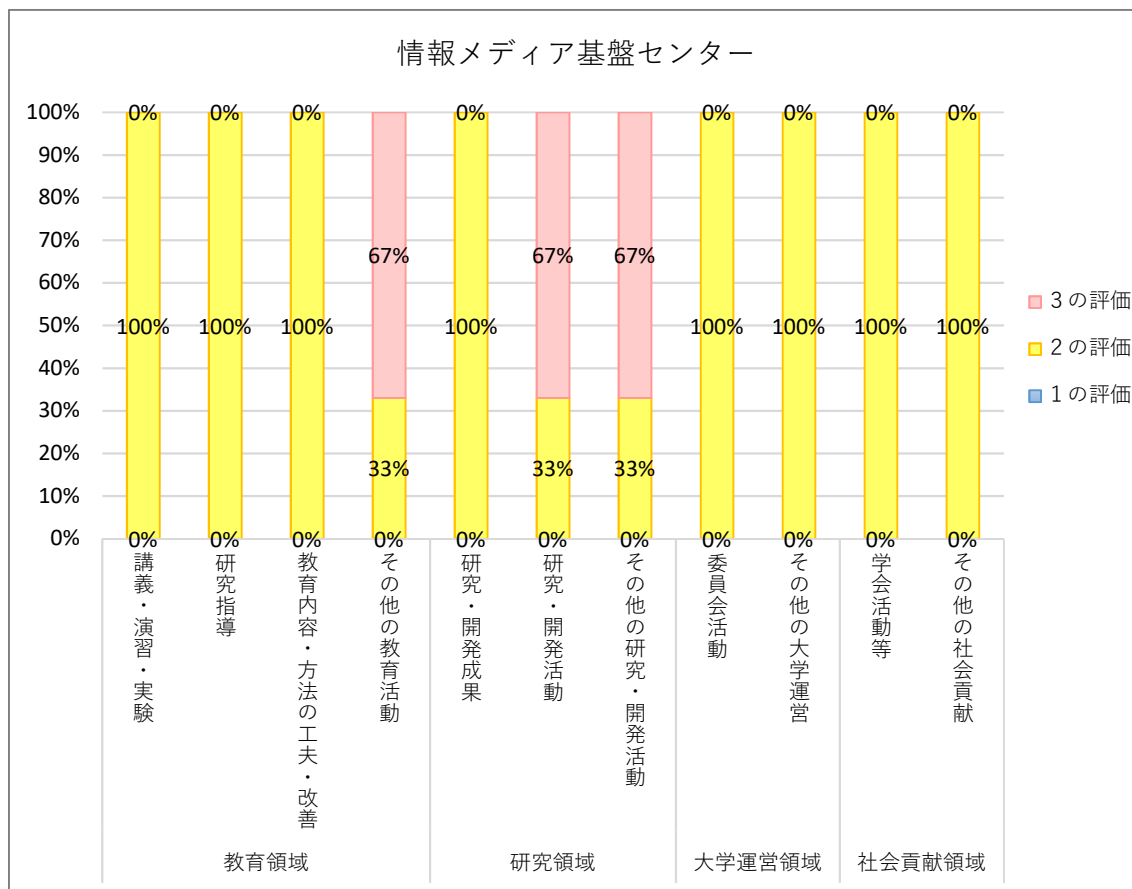
③評価結果の総括、問題点等

特になし

④特記事項

特になし

(7) 情報メディア基盤センター (評価対象人数: 3名)



	教育領域							
	講義・演習・実験		研究指導		教育内容・方法の工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	0	0%	0	0%	2	67%
2の評価	3	100%	3	100%	3	100%	1	33%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	研究領域					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	2	67%	2	67%
2の評価	3	100%	1	33%	1	33%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

	大学運営領域				社会貢献領域			
	委員会活動		その他の大学運営		学会活動等		その他の社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2の評価	3	100%	3	100%	3	100%	3	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

特になし

②評価の低い教員数

特になし

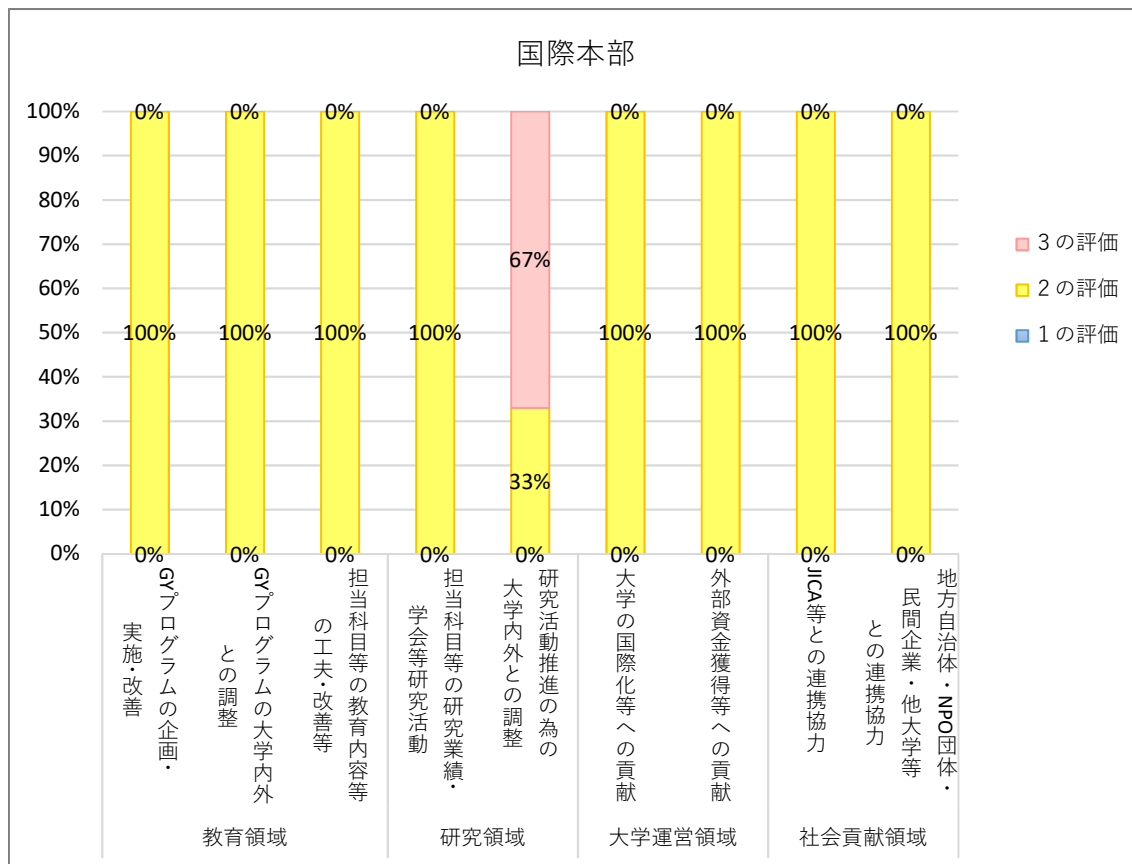
③評価結果の総括、問題点等

教員が各自相応の活動をしており、特に問題点はない。

④特記事項

特になし

(8) 国際本部 (評価対象人数: 3 名)



	教育領域					
	GYプログラムの企画・実施・改善		GYプログラムの大学内外との調整		担当科目等の教育内容等の工夫・改善等	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	0	0%	0	0%
2の評価	3	100%	3	100%	3	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

	研究領域			
	担当科目等の研究業績・学会等研究活動		研究活動推進の為に大学内外との調整	
	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	2	67%
2の評価	3	100%	1	33%
1の評価	0	0%	0	0%

	大学運営領域				社会貢献領域			
	大学の国際化等 への貢献		外部資金獲得等 への貢献		JICA 等との連携 協力		地方自治体・NPO 団 体・民間企業・他大学 等との連携協力	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3 の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2 の評価	3	100%	3	100%	3	100%	3	100%
1 の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

○部局長のコメント

①評価の高い教員数

特になし

②評価の低い教員数

特になし

③評価結果の総括、問題点等

特になし

④特記事項

特になし